

合に、大學から出る初等教育の雑誌に、テンブル女史の論文が載りましたから、それをお送りして、御苦勞様ながら、編輯部の方に譯載して頂きませう。テンブル女史は、シカゴ大學教育大學の助教授で、幼児教育の理論の講義と、學生の保育實習の指導をして居る人です。之れで大體を御承知下さい。

來た時は雪に埋つて居たこの地も、すつかり春めて來ました。ロビンが、晴かな聲で囀るるやうになりました。公園や路傍の芝が、急に、美しい濃い緑になりました。ミシガン湖の氷が、あどかたもなくどけて、春らしいやわらかい磯波に、之も一段と春らしい月の光が、もつれあふ様になりました。ただ、閉ぢ籠めた嚴しい冬よりも、やさしくほどけた若い春に、旅のひとりを思はせることが多くあります。

さて、この手紙が皆さんにお目にかゝるのは、新しい青葉が、日本全島を包んでゐる頃でせう。

遙かに、親愛なる諸君の御健康を祈ります。

### 机邊より

#### ○悲惨きはまる奥國の兒童

奥國では食糧の缺乏益々甚だしく殊に牛乳の供給不足で子供の養育が困難となり、止むなく三四歳乃至五六歳の男女兒童數萬人を、牛乳の豊富な和蘭や伊太利に送り込み、こゝ數年間各國救濟團の手で育てあげてもらふ事にしました。

しかるに、この兒童列車が、首都維也納ウィーンを出發する時、實に慘憺たる光景が演出されました。市長は先づ、これら外國行きの子供團に訓示を與へ、「お前さん方が外國に居る間、國元のお父さんやお母さんば、きつと丈夫に暮して居る、永いことはない、きつと二三年の間である、行つた先きの外國のお友達には、必ずさう言ひなさい—オースターの景氣がなほつたら、今度はお禮のため、きつと、皆様を御招待いたしますと—」

見送りの母親達は皆聲をたて、嬉じなきに泣き叫びました。しかしいよいよ汽車が動き出すと、車窓の中の我子を奪ひ返さうとして護衛の巡査隊と格闘を始め顔を爪で引つ掻かれた巡査が大勢あつたさうです。

(「愛國婦人」第四四〇號の中より……)

\* \* \* \* \*

何といふ光景でせう。何といふ事實でせう。母の手から奪はれてしらない國へ牛乳を飲みに行かなければならない幼兒達!! 大戦の餘波は何處までひびくかわかりません。